

第2学年

ひかいをキャッチしよう

～光が生む美しさやおもしろさに気づく～

- めあて
- ・光に対する興味関心をもつ。
 - ・光を通す物を身のまわりから集め、どのように写るか試し、その美しさやおもしろさに気づく。
 - ・にじみを使って光を描き、色合いの美しさを感じ取る。

- 準備物
- ・光を通す物、セロハンテープ、水彩絵の具
 - ・画用紙、(教師)



＜玉子パックにビー玉を入れようよ。うわ～、きれい！セロファンも合わせよう。色が混じったね。＞

＜ダイヤモンドみたいだよ！プリンのカップには色が付いていないのに、こんなにきれいに写るんだね。＞

＜絵の具をにじませたら、色が混じり合ったよ。すてきな光のできあがり！＞

学習の流れ	実践上の留意点
○影をつくって遊ぶ。	・いろいろな動作で、影遊びを楽しませる。
○どんな物が光を通すか考える。	・影遊びでは、太陽の光が当たると影が出来たけれど、光を通して影が出来ない物もある。どんな物が光を通すのだろうと投げかける。
○光キャッチボックスを作る。	・画用紙の四隅を切り取り、光キャッチボックスを組み立てる。光キャッチを楽しみに待たせる。
○身のまわりから光を通す物を集める。	・日用品や文房具、空き容器などを集めさせる。
○光を通して遊ぶ。	・持ち寄った物を組み合わせて、いろいろな発見を楽しませる。
○絵の具で光を描く。	・にじみの不思議さや美しさに気づかせる。

